

令和元年第2回臨時会

(7月16日招集)

山都町議会会議録

令和元年7月第2回山都町議会臨時会会議録目次

○7月16日（第1号）

出席議員	1
欠席議員	1
説明のため出席した者の職氏名	1
職務のため出席した事務局職員	1
開会・開議	2
日程第1 会議録署名議員の指名	2
日程第2 会期決定の件	2
日程第3 議案第40号 令和元年度山都町一般会計補正予算（第2号）について	2
閉会	9

7 月 16 日（火曜日）

令和元年7月第2回山都町議会臨時会会議録

1. 令和元年7月16日午前10時0分招集
 2. 令和元年7月16日午前10時0分開会
 3. 令和元年7月16日午前10時28分閉会
 4. 会議の区別 臨時会
 5. 会議の場所 山都町役場議場
 6. 議事日程(第1日)(第1号)
 - 日程第1 会議録署名議員の指名
 - 日程第2 会期決定の件
 - 日程第3 議案第40号 令和元年度山都町一般会計補正予算(第2号)について
-

7. 本日の出席議員は次のとおりである(13名)

1番 眞原 誠	2番 西田 由未子	3番 中村 五彦
4番 矢仁田 秀典	6番 藤川 多美	7番 甲斐 重昭
8番 飯開 政俊	9番 吉川 美加	10番 藤原 秀幸
11番 後藤 壽廣	12番 藤川 憲治	13番 藤澤 和生
14番 工藤 文範		

8. 本日の欠席議員は次のとおりである。(1名)

5番 興 柊 誠

9. 地方自治法第121条の規定により会議事件説明のため出席した者の職・氏名

町 長	梅田 穰	副町長	能登 哲也
教 育 長	井手 文雄	総務課長	荒木 敏久
清和支所長	渡辺 八千代	蘇陽支所長	飯星 和浩
会計管理者	緒方 功	企画政策課長	藤原 千春
税務住民課長	田上 るみ子	健康ほけん課長	河野 君代
福祉課長	高橋 季良	環境水道課長	増田 公憲
農林振興課長	山本 敏朗	建設課長	佐藤 三己
山の都創造課長	藤原 章吉	地籍調査課長	上田 浩
学校教育課長	嶋田 浩章	生涯学習課長	工藤 宏二
そよう病院事務長	藤嶋 厚美		

10. 職務のため出席した事務局職員の職・氏名

議会事務局長 坂本 靖也 外2名

開会・開議 午前10時0分

○議長（工藤文範君） ただいまから令和元年第2回山都町議会臨時会を開会します。

これから、本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（工藤文範君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、12番、藤川憲治君、13番、藤澤和生君を指名します。

日程第2 会期決定の件

○議長（工藤文範君） 日程第2、会期決定の件を議題にします。

お諮りします。

本臨時会の会期は、本日1日間にしたいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤文範君） 異議なしと認めます。したがって、本臨時会の会期は本日1日間とすることに決定しました。

日程第3 議案第40号 令和元年度山都町一般会計補正予算（第2号）について

○議長（工藤文範君） 日程第3、議案第40号「令和元年度山都町一般会計補正予算（第2号）について」を議題とします。

本案について提案理由の説明を求めます。

総務課長、荒木敏久君。

○総務課長（荒木敏久君） おはようございます。それでは、議案第40号、令和元年度山都町一般会計補正予算（第2号）について説明を申し上げます。

歳出から説明をいたしますので、最終の7ページをお願いします。

2款1項総務管理費6目庁舎管理費でございます。

今回、補正額として7,123万7,000円を計上しているところでございますが、13節委託料といたしまして、清和・蘇陽支所の空調設備の更新工事設計委託料でございます、966万7,000円。それから、照明設備の更新工事監理委託料として166万7,000円。

それから、事業の主なものでございます、カーボン・マネジメント事業の申請支援の委託料として96万円を計上しているところでございます。合わせまして1,229万4,000円でございます。

15節の工事請負費でございます。5,894万3,000円ということで、清和・蘇陽支所の照明設備の更新工事ということで計上しております。

13款の予備費でございますが、これは調整のための減額ということで御理解をいただきたいと

思います。

6 ページの歳入について説明を申し上げたいというふうに思います。

11 款の地方交付税で 641 万 6,000 円。

それから、21 款 5 項の雑入として 4,458 万 4,000 円ということで、このカーボン・マネジメント事業に対します補助金ということですが、補助事業者が一般財団法人であるため雑入ということで計上しているところがございます。3 分の 2 の補助でございます。

それから、22 款の町債ということですが、2,000 万円を予定しております。地域活性化事業債を活用したいというふうに考えているところがございます。

それでは、表紙の裏をお願いしたいというふうに思います。

令和元年度山都町一般会計補正予算。

令和元年度山都町の一般会計補正予算（第 2 号）は、次に定めるところによる。

歳入歳出予算の補正。

第 1 条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 7,100 万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 145 億 400 万円とする。

2 項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、第 1 表歳入歳出予算補正による。

地方債の補正。

第 2 条、地方債の追加は、第 2 表地方債補正による。

令和元年 7 月 16 日提出、山都町長です。

事業内容につきましては、担当課長より説明を申し上げたいというふうに思います。よろしくお願ひします。

○議長（工藤文範君） 環境水道課長、増田公憲君。

○環境水道課長（増田公憲君） 失礼します。おはようございます。済みません、説明の前に、大変申しわけありませんが、資料の訂正を 3 カ所させていただきます。

山都町カーボン・マネジメント強化事業の説明資料という中で、1 ページを開けていただきたいと思います。1 ページの事業概要の真ん中の、年間で 1,285.2 トン CO₂ というこの数字が、99.7 ということで、訂正をお願いしたいと思います。99.7 です。

それから、済みません 4 ページですね。A 4 の横ですけれども、事業費予算内訳表というところ。左側の令和元年度、令和 2 年度の左下で総計、その上が合計、そして補正となっております、これを「当初」でお願いしたいと思います。「当初」に書き直していただきたいと思ひます。

それから、その上の 6 段目の申請支援委託料というのをちょっと消していただくということで、横棒で消していただきたいと思ひます。

以上、3 カ所ですね。済みません。

それでは、資料の説明の前に、これまでの経過を少し説明したいと思います。

平成 29 年度に策定しました山都町地球温暖化対策実行計画事務事業編に基づき、山都町役場の

事務及び事業に係る公共施設は263施設あり、省エネ推進に積極的に取り組むこととしております。

その一環として、本事業は、山都町役場、清和支所及び蘇陽総合行政センターについて、照明、空調システムを見直し、効率改善を行うことで、CO₂排出量の削減を図ることを目的としております。清和支所は開設してから17年、蘇陽総合行政センターは21年が経過し、両施設とも施設の老朽化が進んでおります。また、施設の用途が支所機能となったことで、開設時と比較して施設の使用頻度に変更が生じていることから、施設の見直し等の時期となっております。

両施設のエネルギー使用状況は、両施設を合計しますと、ガス使用が1位、灯油使用が3位、電気使用が6位と、町の施設の中でもエネルギー使用量が多く、削減に対する効果が高いと言えます。

これまで各支所の空調更新につきましては、単独での予算要求をしておりましたが、高額な事業費から、なかなか財源確保ができませんでした。そこで、カーボン・マネジメント事業では、公共施設の庁舎に対しての補助整備ができることから、補助申請を応募したところでございます。

そこで、去る平成30年度12月定例議会一般会計補正予算において、カーボン・マネジメント事業申請委託料を計上しまして承認していただきました。その後、申請準備に取りかかり、令和元年5月16日付で応募申請書を提出し、7月2日に採択通知をいただいたところでございます。

それでは、お手元の資料をもって御説明したいと思います。

1ページをごらんください。

山都町カーボン・マネジメント強化事業の概要でございます。

事業実施年度は、令和元年度から令和2年度、2年間でございます。

担当窓口としましては、山都町役場環境水道課環境衛生係、また、各支所の地域振興係とタイアップしてやっているところでございます。

それから、事業概要につきましては、冒頭お話ししましたので割愛させていただきますが、この事業概要の下から4段目、「2030年度の温室効果ガスの40%削減につなげていくものです」ということで書いてございます。ここは少し説明させていただきます。

地方公共団体の温室効果ガスの排出の目標値を、2013年度比で2030年度までに40%削減するというものでございます。事務事業編の1号で調査の結果、2018年度の山都町公共施設の全体の温室効果ガスの総排出量は6,273トンです。6,273トンCO₂でございます。その40%に当たる2,500トンCO₂の削減目標となります。公共施設で例えますと、通潤山荘の平成30年度分の排出量が998トンCO₂でございますので、通潤山荘の2年半分の排出量で考えてもらえばいいと思います。

2013年度から2016年度の4年間においては、調査した結果、30%が削減できているという結果が出ております。計算しますと、1,880トンCO₂が削減できているという計算になります。そこで、目標値の2,500トンCO₂から1,880トンCO₂を引きますと、残り620トンCO₂を削減しなければならないこととなります。その620トンCO₂は全体の10%に当たることから、公共施設で例えますと、そよう病院や千滝クリーンハウスの排出量と同じくらいの数値になるようでござ

ざいます。

一応、説明をいたしました。

それから、施設更新においては、補助額として2ヵ年で1億3,608万1,000円が見込まれることになっておるところでございます。

次のカーボン・マネジメント体制の整備計画に基づく実施状況については、記載のとおりでございます。

2ページをごらんいただきたいと思います。

A4の横になりますが、地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業の補助内容でございます。

背景・目的、左側ですが、事業概要というところをごらんいただきたいと思います。1、2、3と書いてございますが、1が事務事業編の事業でございます。

今年度、来年度で2のところ、事業に当たる部分でございます。事務事業等に基づく省エネ設備等の導入支援事業ということで書いてあります。先進的な取り組みを行おうとする地方公共団体等に対して、公共施設、庁舎等への省エネ設備等導入を補助するというものでございます。空調・照明・エネルギーマネジメントシステム等ということで、公共施設、庁舎等の新築・改築等に省エネ設備等を導入ということで書いてございます。

それから、右側に移りまして、事業スキーム、事業期間です。これは、さきの真ん中の、2事業というところで、平成28年度から平成32年度、来年度までの事業となります。

それから、その下の2の補助対象、地方公共団体等というところをごらんいただきますと、3段目の右側に、その他市区町村、財政力指数が全国平均以上であれば2分の1、未満であれば3分の2ということで、山都町におきましては未満でございますので、補助率は3分の2ということでございます。

それでは、3ページをごらんいただきたいと思います。

3ページにつきましては、公募の結果の通知の写しをつけております。令和元年7月2日付で、一般財団法人環境イノベーション情報機構からいただいたものでございます。

中ほどの記の下に、1で、平成31年度採択額、これは補助金額となりますが、4,458万4,000円を上限とするということでございます。それから、なお書きのところに、令和2年度は総事業費1億4,523万9,600円ということで書いてございます。

3番目の(3)特に留意する事項としましては、事業(支払いまで)は令和2年2月末までに必ず完了するようにしてくださいということで、これは繰り越しができない事業ですということでございます。

それでは、4ページをごらんいただきたいと思います。

事業費予算内訳表になります。上の段が令和元年度、下が令和2年度になります。

ちょっと字が小さいですけども、令和元年度におきましては、先ほど総務課長の予算どおりでございます。ことしは、清和支所、蘇陽支所のLED整備をやるための委託料と工事費等でございます。総事業費7,123万7,000円ということで、財源内訳についてはごらんのとおりでございます。

ます。

それから、2年度につきましては、一応、空調整備をやるというところで数字的に上がっているところがございます。総額は2億1,647万6,000円という額になります。国庫補助、起債を借りまして、一般財源等も充てているところがございます。

それでは、次の5ページをごらんいただきたいと思います。

5ページは、蘇陽総合行政センターの管内図でございます。

この右側の下に、赤丸というところで、それぞれ赤丸をつけておりますが、赤丸の箇所につきましては、倉庫として利用しているため、空調の更新工事を行わず、必要最低限のLED更新をしようとして計画しているところがございます。

合併前は、蘇陽支所には80名の職員さんがいらっしゃいましたが、今は18名ということで、社会福祉協議会、森林組合、JA阿蘇さんが一緒に働いていらっしゃいます。合併前は116名でしたが、今のところは50名というところですね。半分以上に減っているところがございます。

それから、床面積につきましては、6,388平米の床面積がございます。

それから、6ページ、清和支所管内図をごらんいただきたいと思います。

清和支所におきましては、職員数が、合併前は54名でしたけれども、今は23名というところで、これも半分以上に減っているところがございます。床面積は2,440平米の床面積でございます。

それでは、7ページに、それぞれ蘇陽支所、清和支所の整備計画を書いております。

まず、蘇陽支所のほうですが、照明設備、空調設備ということで、更新を要する理由としましては、国内主要メーカーの蛍光灯の生産が令和2年度で中止になるということの動きでLEDにかえたいというところがございます。それから、照度基準がないための非効率とか、それから、一部には白熱灯、水銀灯が使用されておりますので、水銀灯については製造中止ということ聞いております。

更新概要につきましては、蛍光灯、白熱灯、水銀灯で1,237個が存在します。これをLEDにかえたいというところがございます。

導入効果につきましては、CO₂削減が11.5%、これまでの排出量の11.5%削減ができるということです。それから、電気料が年間100万円ほど支出減が見込まれるということになっております。

空調設備につきましては、R22冷媒の全廃ということで、フロンとかアンモニアの冷却材が全廃ということで、L2-Tech製品の更新にかえたいというところがございます。現在、老朽化に伴いまして故障が頻発に起きておりまして、効率が悪化しているところがございます。年間、見込まれるガスの使用料の削減が130万見込まれるということで計算が出ております。

それから、清和支所のほうにおきましては、同じくLEDにつきましては、そういうことで、蘇陽と余り変わりません。438個をLEDにしたいということで書いております。

電気料につきましては、33万ほど削減が見込まれるということです。

空調設備につきましては、灯油空調機がもう生産中止になっておりますので、電気式のマルチエアコンに更新したいというところがございます。灯油から電気式に交換することで、29万2,000

円の支出減が見込まれるということでございます。

それから、済みません、清和・蘇陽支所の人数も減っておりますので、間切りをして空調を整備しようということで、そういうことも考えながら設計していこうということで考えておるところでございます。

では、最後のページです。

1番上ですね。7月2日に内示をもらいまして、補助金申請を、今、7月12日で行っております。で、きょうが7月16日の臨時議会というところでございます。交付決定につきましては、30日以内に補助金交付決定がございまして、7月12日から30日ですので、8月の15日から20日ごろを予定しているところでございます。それから、横に行きまして、12月では令和2年度の当初予算の要求を計画しているところでございます。2月20日には支払い予定ということで完了したいということで考えております。

それから、その下の実施設計業務、13節委託料の966万7,000円の内訳です。実施設計は、LED照明と空調整備等の実施設計をしたいということで考えております。

本体工事におきましては、実施設計、LEDの設計が終わった後に、11月から1月までの3ヵ月間において計画したいということで考えております。

それから、設計監理業務委託も同じでございます。

それから、申請（変更含む）支援業務、これは単費ですけれども、委託料につきましても、実施していきたいということで予算を組んでいるところでございます。

以上で説明を終わらせていただきます。

○議長（工藤文範君） 議案第40号の説明が終わりました。

これから質疑を行います。質疑はありますか。

7番、甲斐重昭君。

○7番（甲斐重昭君） 済みません、事務的なことで申しわけありませんけれども、補正予算の中での補助金関係がその他ということで、予算にはなっておりますけれども、この事業計画の中では国庫支出金という形になっておりますけれども、ここら辺りは整合性をとらなくても大丈夫なんですか。よければ、こちらのほうも、事業予算のほうも、その他という形で出すべきじゃないかと思っておるんですけど。それ、どちらが正解とするのかということのを改めて聞きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○議長（工藤文範君） 総務課長、荒木敏久君。

○総務課長（荒木敏久君） お答えします。財源のその他の4,400万の話だと思っておりますが、補助事業主体が一般財団法人ということで、そのほかにも、例えば宝くじの助成あたりも自治活性化センターという補助がありますので、そういった同じ扱いをしたということで御理解いただきたいというふうに思います。

○議長（工藤文範君） ほかに質疑ありませんか。

7番、甲斐重昭君。

○7番（甲斐重昭君） それは説明があったからわかっておりますけれども、先ほど事業予算

の内訳書という形で環境水道課長のほうから説明があった中での4ページですね。その中での財源内訳が国庫補助という、国庫支出金というふうになっておりますので、こちらのほうをその他のほうにするべきではないかということをおし上げたわけでございます。どちらがどういうふうに正しいのかということで、今、総務課長が言ったのが正しいというふうには思っておりますので、こちらのほうを訂正するべきじゃないかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○議長（工藤文範君） 環境水道課長、増田公憲君。

○環境水道課長（増田公憲君） そのようにしていきたいと思えます。

○議長（工藤文範君） ほかに質疑はありませんか。

6番、藤川多美君。

○6番（藤川多美君） 蘇陽支所の空調設備の件なんです、ガスの空調機からL2-Tech製品へ更新ということなんです、このL2-Techというのがどんなものか、ガスじゃないと思えますが、電気なのか灯油なのかという、そこら辺をよろしくお願ひします。

それから、空調機の更新に当たっては現在のを使いながら次の工事をされると思えますが、その工事期間はどのようにされるのか。例えば、冬場にするのであれば、冬のガスの空調を使いながら新しい空調を工事をしなくてはなりません、どのようにしてされるのかをお尋ねしたいと思えます。

○議長（工藤文範君） 環境水道課長、増田公憲君。

○環境水道課長（増田公憲君） お答えします。2点目の空調の整備の時期ですが、これは補助金交付申請が4月に行われますので5月の初旬ごろ決定が来ますので、冬の前に空調整備が行えることは間違いなくと思えます。

それから、ガスの容量についてですが、ちょっと詳しく私も聞いていませんもんですから、年間130万ほど、ガスの使用量が安くなるということで、今の機器よりも、かなりの効果がある機器と伺っております。交換になります。熱源はガスです。

○議長（工藤文範君） ほかに質問、質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤文範君） これで質疑を終わります。

これから議案第40号を採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（工藤文範君） 異議なしと認めます。

したがって、議案第40号「令和元年度山都町一般会計補正予算（第2号）について」は、原案のとおり可決されました。

以上で本臨時会の会議に付された事件は全て終了しました。

本日の会議を閉じます。

令和元年第2回山都町議会臨時会を閉会します。

閉会 午前10時28分

令和元年7月臨時会に議した事件のてんまつは、次のとおりである。

議案第40号 令和元年度山都町一般会計補正予算（第2号）について 7月16日 原案可決

会議規則第120条の規定によりここに署名する。

山都町議長

山都町議員

山都町議員
